

但馬管内の景気動向調査

2017年4～6月期実績・2017年7～9月期見通し

【特別調査 人手不足下における中小企業の人材活用策について】

調査の概要

1. 回答数：573（前回：349）
2. 分析方法：ディフュージョン・インデックス（D.I.）
景気の各項目事項について、良いと感じている企業の割合から悪いと感じている企業の割合を引いたもの。

1. 概況 (回答数 573 前回 349) 回答数の増加により、前四半期比には多少の乖離があります。

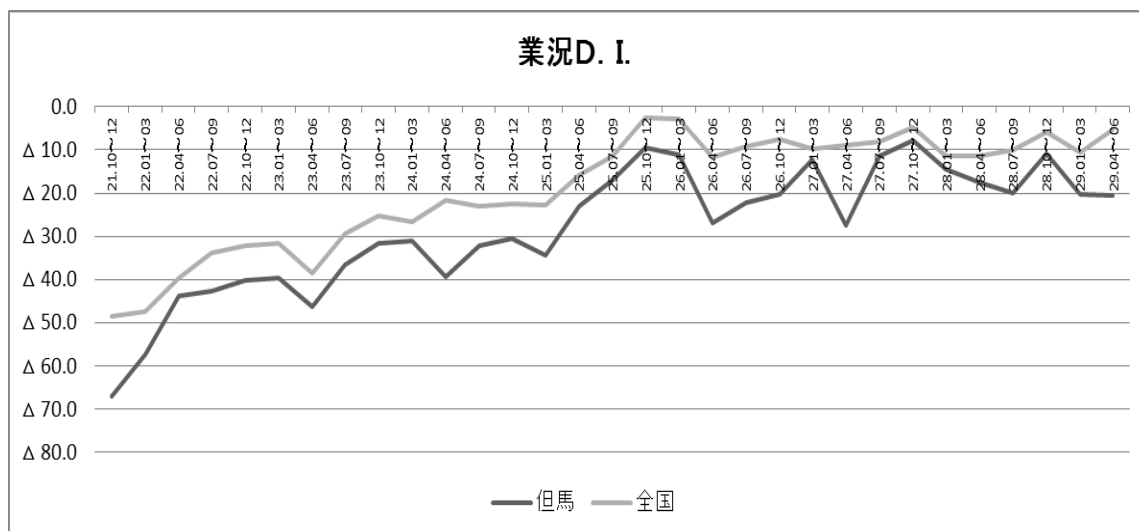
今回(4月～6月期)のD.I.は、全項目マイナスとなり、資金繰りD.I.、借入金の難易度D.I.、人手過不足D.I.を除き、前四半期比悪化した。7月～9月期の景況予想については、売上額D.I.、収益D.I.の改善見通しにより、業況D.I.は今回より5.9ポイント改善予想ではあるが、下記の天気図から見てわかるように、依然として低調な状況が今後も続くと思われる。

全体	2017年4～6月実績	前四半期比	2017年7～9月期予想
業況D. I.	△ 20.5	△ 0.3	△ 14.6
前年同期比売上額D. I.	△ 11.7	△ 1.0	-
前年同期比収益D. I.	△ 13.6	△ 0.6	-
売上額D. I.	△ 23.6	△ 6.4	△ 4.6
収益D. I.	△ 23.6	△ 6.1	△ 7.2
資金繰りD. I.	△ 17.5	4.6	△ 16.8
借入金の難易度D. I.	△ 4.5	4.6	-
前期比残業時間D. I.	△ 6.5	△ 7.0	△ 3.3
人手過不足D. I.	△ 16.3	5.1	△ 17.2

業種名 \ 時期	2017年 1～3月	2017年 4～6月	2017年 7～9月(見通し)
総合			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調



2. 製造業（回答数104 前回79）

前回の調査で業況 D.I が 7.8 ポイントであったが、今回は業況 D.I が $\Delta 11.5$ と悪化しており、2四半期ぶりの低下となった。

売上額 D.I. $\Delta 14.4$ 、受注残 D.I. $\Delta 12.5$ 、収益 D.I. $\Delta 11.5$ となっており、いずれも前四半期比で悪化しているが、前年同期比では改善がみられる。

7月～9月期予想は、販売価格、人手過不足感に明るい兆しが見られるものの、資金繰り D.I. 原材料在庫 D.I の悪化懸念により業況 D.I. は更に悪化予想となった。

製造業	2017年4～6月期実績	前四半期比	2017年7～9月期予想
業況D. I.	$\Delta 11.5$	$\Delta 19.3$	$\Delta 14.6$
前年同期比売上額D. I.	2.9	$\Delta 3.4$	-
前年同期比収益D. I.	1.0	6.0	-
売上額D. I.	$\Delta 14.4$	$\Delta 15.7$	$\Delta 8.8$
受注残D. I.	$\Delta 12.5$	$\Delta 11.2$	$\Delta 2.9$
収益D. I.	$\Delta 11.5$	$\Delta 15.3$	$\Delta 8.8$
販売価格D. I.	$\Delta 5.8$	$\Delta 8.3$	2.9
原材料価格D. I.	19.4	$\Delta 8.4$	17.8
原材料在庫D. I.	9.7	$\Delta 1.7$	$\Delta 0.0$
資金繰りD. I.	$\Delta 4.8$	$\Delta 2.3$	$\Delta 12.9$
借入金の難易度D. I.	9.8	4.7	-
前期比残業時間D. I.	$\Delta 8.7$	$\Delta 18.8$	$\Delta 6.8$
人手過不足D. I.	$\Delta 18.4$	14.9	$\Delta 17.6$
現在の設備D. I.	$\Delta 17.5$	6.6	-
設備投資D. I.	39.4	$\Delta 1.1$	-
末期設備投資D. I.	46.2	6.9	-

3. 建設業（回答数110 前回77）

今回の業況 D.I. は $\Delta 16.5$ で前四半期比で 14.7 ポイント改善した。売上額 D.I. $\Delta 9.1$ 、資金繰り D.I. $\Delta 10.9$ 、収益 D.I. $\Delta 10.0$ と悪いと感じている企業の方が多く状態だが、ほぼ全項目が前四半期比ポイント改善しており、景況感には改善が見られる。売上額 D.I.、収益 D.I. 共に前年同期比悪化しており回復感はない。

更に、7月～9月期の予想も、売上額、収益共に悪化すると予想している。

建設業	2017年4～6月期実績	前四半期比	2017年7～9月期予想
業況D. I.	$\Delta 16.5$	14.7	$\Delta 16.7$
前年同期比売上額D. I.	$\Delta 10.9$	4.9	-
前年同期比収益D. I.	$\Delta 10.9$	9.9	-
売上額D. I.	$\Delta 9.1$	22.1	$\Delta 15.5$
受注残D. I.	$\Delta 12.7$	13.9	$\Delta 10.9$
施工高D. I.	$\Delta 4.6$	18.8	$\Delta 7.3$
収益D. I.	$\Delta 10.0$	18.6	$\Delta 13.6$
請負価格D. I.	$\Delta 2.7$	11.6	$\Delta 10.0$
材料価格D. I.	17.3	4.1	10.0
在庫D. I.	$\Delta 1.8$	0.8	0.9
資金繰りD. I.	$\Delta 10.9$	20.3	$\Delta 15.5$
借入金の難易度D. I.	$\Delta 5.5$	5.5	-
前期比残業時間D. I.	$\Delta 4.5$	$\Delta 8.4$	0.0
人手過不足D. I.	$\Delta 20.0$	$\Delta 5.5$	$\Delta 18.2$
現在の設備D. I.	$\Delta 16.4$	0.7	-
設備投資D. I.	32.7	4.2	-
末期設備投資D. I.	30.0	$\Delta 3.8$	-

4. 卸売業（回答数68 前回37）

今回業況 D.I. は $\Delta 30.9$ と前四半期と比べて 10.8 ポイント上昇した。資金繰り D.I. が 21.9 ポイント、人手過不足 D.I. が 17.8 ポイント、収益 D.I. が 15.8 ポイントをはじめ、前四半期比ほぼ全項目がポイント上昇している。しかしながら、売上額 D.I.、収益 D.I. は、前年同期比悪化しており、回復まで至っていない。

又、7月～9月期予想も業況 D.I. $\Delta 14.7$ 、売上額 D.I. $\Delta 7.5$ 、収益 D.I. $\Delta 10.4$ と改善が予想されている。

卸売業	2017年4～6月期実績	前四半期比	2017年7～9月期予想
業況D. I.	$\Delta 30.9$	10.8	$\Delta 14.7$
前年同期比売上額D. I.	$\Delta 19.1$	24.1	-
前年同期比収益D. I.	$\Delta 26.5$	3.3	-
前年同期比販売価格D. I.	16.2	16.2	-
売上額D. I.	$\Delta 26.5$	11.4	$\Delta 7.5$
収益D. I.	$\Delta 22.1$	15.8	$\Delta 10.4$
販売価格D. I.	14.7	12.0	11.9
仕入価格D. I.	16.2	5.4	23.9
在庫D. I.	13.2	2.4	17.9
資金繰りD. I.	$\Delta 13.2$	21.9	$\Delta 19.4$
借入金の難易度D. I.	$\Delta 2.9$	7.9	-
前期比残業時間D. I.	$\Delta 3.0$	7.8	$\Delta 1.5$
人手過不足D. I.	$\Delta 4.4$	17.8	$\Delta 5.9$
現在の設備D. I.	$\Delta 1.5$	$\Delta 6.9$	-
設備投資D. I.	29.4	$\Delta 0.3$	-
末期設備投資D. I.	35.3	$\Delta 2.5$	-

5. 小売業（回答数 83 前回 54）

今回業況 D.I.は△38.6 ながら、在庫・資金繰り D.I.が前四半期比で改善がみられ、4.0 ポイント上昇した。売上額 D.I.、収益 D.I.共に前年同期比悪化している。

また、7月～9月期の予想は、業況 D.I.△31.3 と若干の改善の見通し。販売価格 D.I.と仕入価格 D.I.の改善が影響し、売上額 D.I.や収益 D.I.の改善が見込まれる為だと思われる。

小売業	2017年4～6月期実績	前四半期比	2017年7～9月期予想
業況D.I.	△ 38.6	4.0	△ 31.3
前年同期比売上額D.I.	△ 28.9	△ 3.0	-
前年同期比収益D.I.	△ 25.3	4.3	-
前年同期比販売価格D.I.	3.6	△ 0.1	-
売上額D.I.	△ 42.2	△ 19.9	△ 15.7
収益D.I.	△ 37.3	△ 7.7	△ 13.3
販売価格D.I.	1.2	△ 2.5	4.8
仕入価格D.I.	8.4	△ 6.4	14.5
在庫D.I.	8.5	4.8	9.8
資金繰りD.I.	△ 37.8	4.8	△ 32.9
借入金の難易度D.I.	△ 12.7	2.2	-
前期比残業時間D.I.	△ 4.8	8.1	△ 8.4
人手過不足D.I.	△ 22.0	△ 7.1	△ 18.5
現在の設備D.I.	△ 4.8	4.6	-
設備投資D.I.	21.7	3.2	-
来期設備投資D.I.	19.3	△ 1.1	-

6. 不動産業（回答数 17 前回 7）

今回業況 D.I.は 11.8 ポイントと前四半期比から若干低下した。この他にも資金繰り D.I.△37.0 ポイント、売上額 D.I.及び収益 D.I.△20.5 ポイントと全体的に業況は悪化している。4月～6月は新生活や引越し等の需要で業況は良くなると予想されていたが、芳しくない結果となった。

7月～9月期の予想は、業況 D.I.、売上額 D.I.収益 D.I.全てが悪化しており、景況感に厳しさを増すことが予想される。

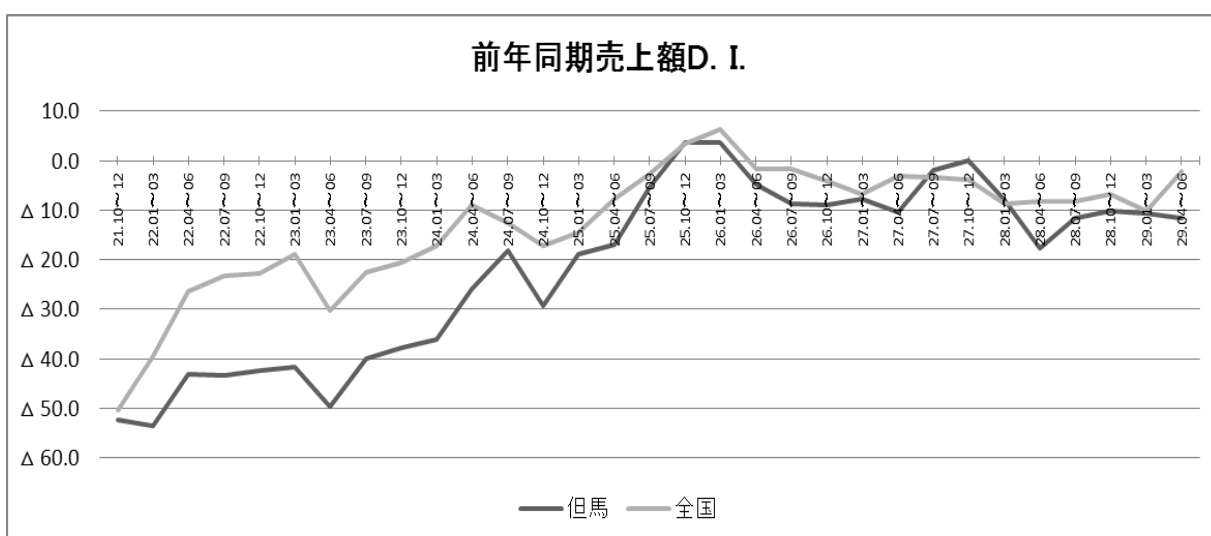
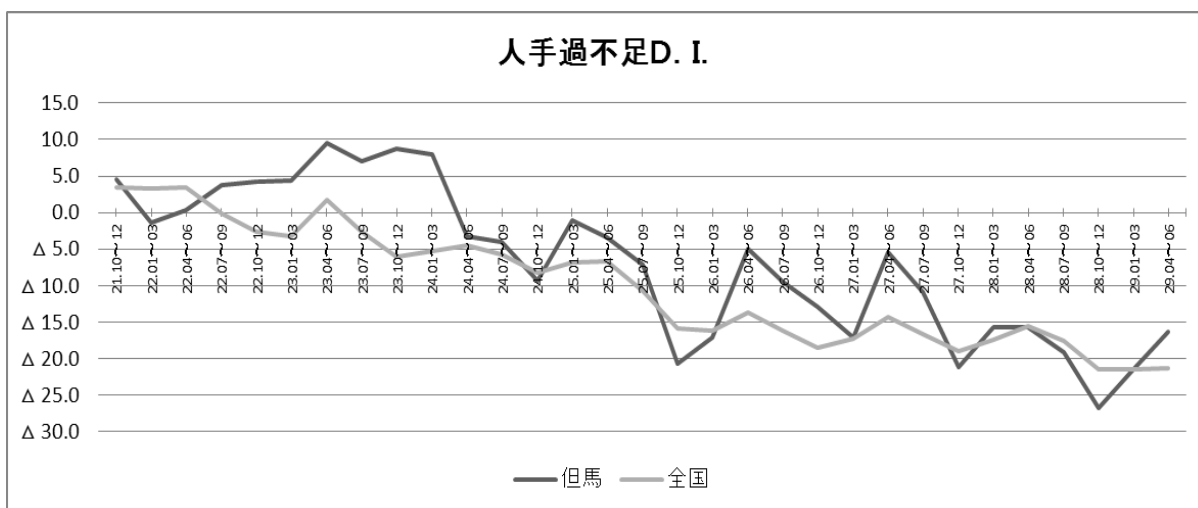
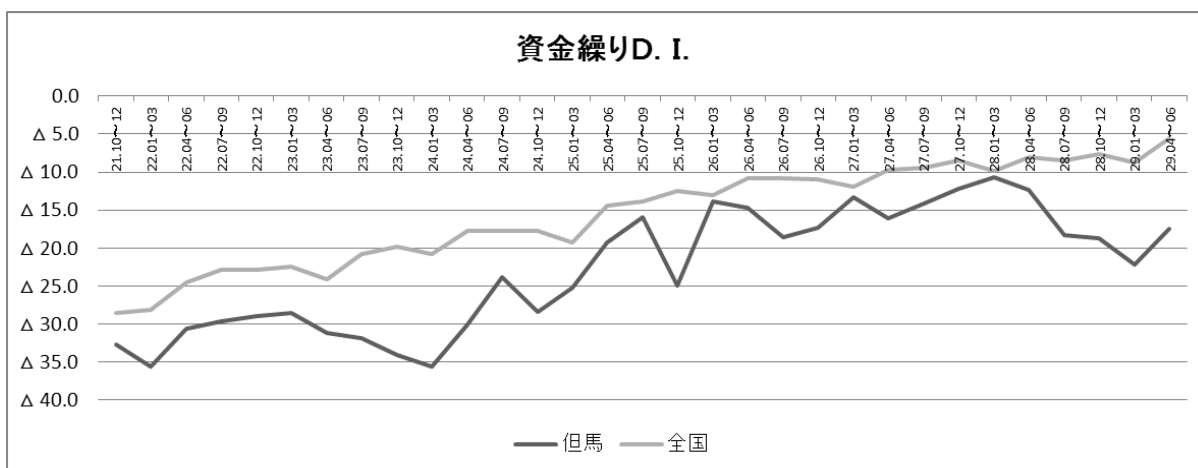
不動産業	2017年4～6月期実績	前四半期比	2017年7～9月期予想
業況D.I.	11.8	△ 2.5	△ 5.9
前年同期比売上額D.I.	0.0	0.0	-
前年同期比収益D.I.	0.0	△ 16.7	-
売上額D.I.	△ 6.3	△ 20.5	△ 23.5
収益D.I.	△ 6.3	△ 20.5	△ 29.4
販売価格D.I.	△ 6.3	8.0	△ 6.3
仕入価格D.I.	△ 6.7	△ 6.7	0.0
在庫D.I.	0.0	△ 16.7	△ 6.7
資金繰りD.I.	5.9	△ 37.0	5.9
借入金の難易度D.I.	△ 6.7	△ 6.7	-
前期比残業時間D.I.	5.9	△ 8.4	11.8
人手過不足D.I.	△ 11.8	2.5	△ 11.8

7. サービス業（回答数 191 前回 95）

今回業況 D.I.は△18.9 であったが、ほぼ全項目で前四半期比で悪化した。売上額 D.I.及び収益 D.I.は前年同期比でも悪化しており、業況厳しい状況が続いている。

7月～9月期は夏のレジャー等で宿泊施設等の利用が増えることから売上額 D.I.は 11.5 と、かなり上昇することが予想される。繁忙期による人手過不足 D.I.が△20.4 と悪化はしているが、業況 D.I.は、改善の見通しとなっている。

サービス業	2017年4～6月期実績	前四半期比	2017年7～9月期予想
業況D.I.	△ 18.9	△ 3.2	△ 6.8
前年同期比売上額D.I.	△ 11.0	△ 11.0	-
前年同期比収益D.I.	△ 14.7	△ 15.7	-
売上額D.I.	△ 29.3	△ 16.6	11.5
収益D.I.	△ 34.0	△ 20.3	3.2
料金価格D.I.	△ 7.0	△ 10.1	8.0
材料価格D.I.	11.0	△ 9.2	16.6
資金繰りD.I.	△ 23.2	△ 4.0	△ 13.7
借入金の難易度D.I.	△ 8.6	7.7	-
前期比残業時間D.I.	△ 9.4	△ 10.5	△ 3.1
人手過不足D.I.	△ 15.2	5.9	△ 20.4
現在の設備D.I.	△ 20.1	△ 5.2	-
設備投資D.I.	25.7	△ 2.8	-
来期設備投資D.I.	24.6	△ 3.8	-



業種別DI等の推移表

製造業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	収益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り					
28.04~06	△ 1.7	△ 19.0	△ 15.5	△ 13.8	△ 10.3	△ 3.4	6.9	10.3	△ 1.7	5.2	8.6	△ 24.1	7.0	△ 20.7	64.4
28.07~09	△ 9.8	0.0	2.4	9.8	0.0	2.4	12.2	12.2	9.8	0.0	2.4	△ 17.1	14.6	△ 12.2	29.3
28.10~12	5.5	△ 5.5	△ 2.7	26.0	15.1	24.7	11.0	31.5	1.4	2.7	12.5	△ 34.7	11.0	△ 24.7	30.1
29.01~03	7.8	6.3	△ 5.1	1.3	△ 1.3	3.8	2.6	27.8	11.4	△ 2.5	10.1	△ 33.3	5.1	△ 24.1	40.5
29.04~06	△ 11.5	2.9	1.0	△ 14.4	△ 12.5	△ 11.5	△ 5.8	19.4	9.7	△ 4.8	△ 8.7	△ 18.4	9.8	△ 17.5	39.4
29.07~09	△ 14.6														

建設業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	施行高	収益	請負価格	材料価格	在庫						
28.04~06	△ 25.5	△ 33.3	△ 35.3	△ 15.7	△ 13.7	△ 13.7	△ 25.5	△ 13.7	21.6	△ 2.0	△ 17.6	△ 5.9	△ 17.6	△ 2.0	△ 5.9	57.3
28.07~09	△ 2.6	△ 25.6	△ 23.7	△ 25.0	△ 15.0	△ 22.5	△ 30.0	△ 10.0	22.5	△ 5.0	△ 12.5	△ 15.0	△ 17.5	△ 5.0	△ 12.5	30.0
28.10~12	△ 5.5	△ 6.6	△ 9.9	3.3	△ 6.7	4.4	△ 2.2	△ 13.5	15.7	1.1	△ 29.7	△ 1.1	△ 30.8	△ 14.9	△ 11.2	34.1
29.01~03	△ 31.2	△ 15.8	△ 20.8	△ 31.2	△ 26.7	△ 23.4	△ 28.6	△ 14.3	13.2	△ 2.6	△ 31.2	3.9	△ 14.5	△ 11.0	△ 17.1	28.6
29.04~06	△ 16.5	△ 10.9	△ 10.9	△ 9.1	△ 12.7	△ 4.6	△ 10.0	△ 2.7	17.3	△ 1.8	△ 10.9	△ 4.5	△ 20.0	△ 5.5	△ 16.4	32.7
29.07~09	△ 16.7															

卸売業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り					
28.04~06	△ 24.4	△ 15.6	△ 2.2	13.3	△ 20.0	△ 26.7	13.3	15.9	6.7	△ 4.4	0.0	△ 11.4	△ 7.0	△ 9.8	40.0
28.07~09	△ 31.4	△ 11.4	△ 8.6	△ 5.7	△ 20.0	△ 25.7	0.0	20.0	17.6	△ 14.3	△ 2.9	△ 5.7	△ 5.7	△ 14.3	31.4
28.10~12	△ 14.0	△ 15.9	△ 9.1	△ 6.8	4.5	4.5	2.3	18.2	13.6	△ 15.9	△ 7.0	△ 14.0	△ 4.5	△ 6.8	31.8
29.01~03	△ 41.7	△ 43.2	△ 29.7	0.0	△ 37.8	△ 37.8	2.7	10.8	10.8	△ 35.1	△ 10.8	△ 22.2	△ 10.8	5.4	29.7
29.04~06	△ 30.9	△ 19.1	△ 26.5	16.2	△ 26.5	△ 22.1	14.7	16.2	13.2	△ 13.2	△ 3.0	△ 4.4	△ 2.9	△ 1.5	29.4
29.07~09	△ 14.7														

小売業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り					
28.04~06	△ 41.9	△ 30.2	△ 27.9	9.3	△ 42.9	△ 35.7	△ 7.1	14.3	7.1	△ 33.3	△ 2.3	△ 7.1	△ 23.8	△ 11.9	30.2
28.07~09	△ 42.1	△ 23.7	△ 34.2	2.6	2.6	△ 5.3	0.0	15.8	18.4	△ 47.4	△ 13.2	△ 7.9	△ 10.8	△ 21.1	42.1
28.10~12	△ 34.3	△ 33.3	△ 34.8	△ 6.1	△ 4.5	△ 6.0	△ 1.5	13.4	△ 3.0	△ 39.4	1.5	△ 16.4	△ 13.4	△ 14.9	23.9
29.01~03	△ 42.6	△ 25.9	△ 29.6	3.7	△ 22.2	△ 29.6	3.7	14.8	3.7	△ 42.6	△ 13.0	△ 14.8	△ 14.8	△ 9.4	18.5
29.04~06	△ 38.6	△ 28.9	△ 25.3	3.6	△ 42.2	△ 37.3	1.2	8.4	8.5	△ 37.8	△ 4.8	△ 22.0	△ 12.7	△ 4.8	21.7
29.07~09	△ 31.3														

不動産業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り				
28.04~06	15.4	0.0	15.4	0.0	△ 15.4	△ 15.4	△ 8.3	△ 8.3	0.0	7.7	△ 7.7	0.0	
28.07~09	△ 18.2	△ 9.1	△ 18.2	△ 9.1	△ 9.1	△ 10.0	△ 12.5	12.5	9.1	0.0	0.0	0.0	
28.10~12	△ 20.0	0.0	△ 6.7	0.0	0.0	△ 21.4	△ 14.3	△ 7.7	△ 6.7	14.3	△ 21.4	△ 20.0	
29.01~03	14.3	0.0	16.7	0.0	14.3	△ 14.3	0.0	16.7	42.9	14.3	△ 14.3	0.0	
29.04~06	11.8	0.0	0.0	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.7	0.0	5.9	5.9	△ 11.8	△ 6.7	
29.07~09	△ 5.9												

サービス業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	売上額	収益	料金価格	材料価格	資金繰り							
28.04~06	△ 10.6	△ 1.5	△ 6.0	△ 28.4	△ 35.8	△ 7.5	11.9	△ 17.9	11.9	△ 16.7	△ 4.5	△ 25.8	43.3		
28.07~09	△ 17.6	△ 2.0	3.9	7.8	9.8	2.0	11.8	△ 24.0	0.0	△ 44.0	4.2	△ 28.0	35.3		
28.10~12	△ 9.7	△ 3.4	△ 6.2	6.2	2.1	10.4	25.9	△ 15.3	6.9	△ 29.2	△ 11.3	△ 19.3	33.6		
29.01~03	△ 15.8	0.0	1.1	△ 12.8	△ 13.7	3.2	20.2	△ 19.1	1.1	△ 21.1	△ 16.3	△ 14.9	28.4		
29.04~06	△ 18.9	△ 11.0	△ 14.7	△ 29.3	△ 34.0	△ 7.0	11.0	△ 23.2	△ 9.4	△ 15.2	△ 8.6	△ 20.1	25.7		
29.07~09	△ 6.8														

全業種	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	資金繰り							
28.04~06	△ 17.4	△ 17.7	△ 15.2	△ 22.5	△ 24.6	△ 12.3	3.6	△ 15.7	△ 4.8				
28.07~09	△ 20.1	△ 11.6	△ 11.2	△ 4.2	△ 8.3	△ 18.2	△ 5.1	△ 19.1	0.0				
28.10~12	△ 10.8	△ 10.1	△ 11.0	7.1	3.9	△ 18.7	4.2	△ 26.7	△ 8.2				
29.01~03	△ 20.2	△ 10.7	△ 13.0	△ 17.2	△ 17.5	△ 22.1	0.6	△ 21.4	△ 9.1				
29.04~06	△ 20.5	△ 11.7	△ 13.6	△ 23.6	△ 23.6	△ 17.5	△ 6.5	△ 16.3	△ 4.5				
29.07~09	△ 14.6												

全国	前年同期に比べた				
	業況	売上額	収益	資金繰り	人手
28.04~06	△ 11.4	△ 8.3	△ 9.6	△ 8.1	△ 15.6
28.07~09	△ 10.1	△ 8.2	△ 9.2	△ 8.5	△ 17.6
28.10~12	△ 6.0	△ 6.7	△ 8.2	△ 7.7	△ 21.4
29.01~03	△ 10.7	△ 10.1	△ 11.1	△ 8.8	△ 21.5
29.04~06	△ 5.3	△ 2.2	△ 3.8	△ 5.5	△ 21.3
29.07~09					

《特別調査》 「中小企業の3～5年後の事業の見通しについて」

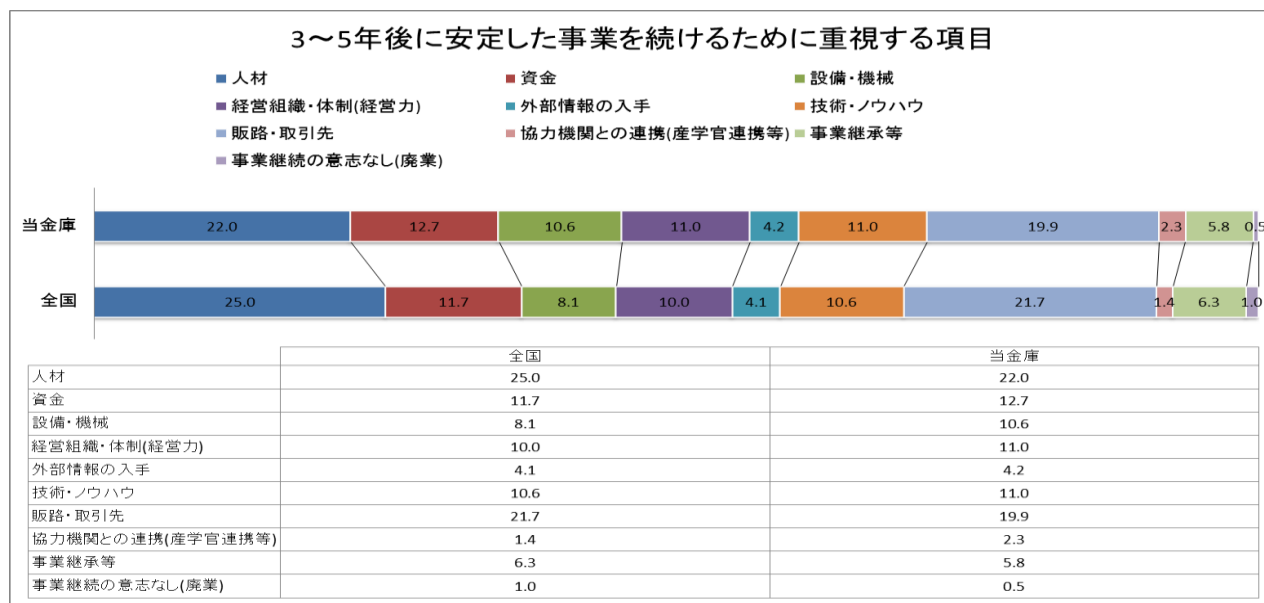
【問1】 3～5年後の自社の事業見通し

3～5年後の自社の事業見通しについては、「どちらともいえない」(59.6%)が最も高く、次いで「やや暗い」(21.2%)、「やや明るい」(12.3%)となっている。全国とほぼ同じ割合である。



【問2】 3～5年後に安定した事業を続けるために重視する項目

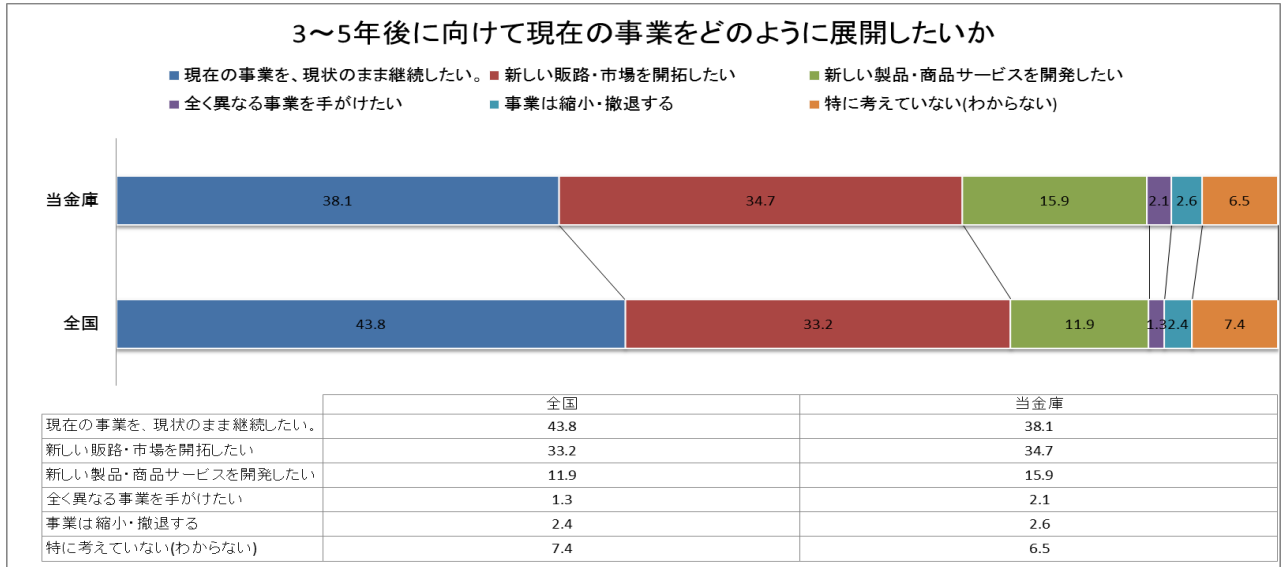
3～5年後に安定した事業を続けるために重視する項目については、「人材」(22.0%)が最も高く、次いで「販路・取引先」(19.9%)、「賃金」(12.7%)、「経営組織・体制(経営力)」、「技術・ノウハウ」が(11.0%)である。



【問3】 3～5年後に現在の事業をどのように展開したいか

3～5年後に現在の事業をどのように展開したいかについては、「現在の事業を、現状のまま継続したい」（38.1%）が全国よりは低いものの、最も割合が高かった。

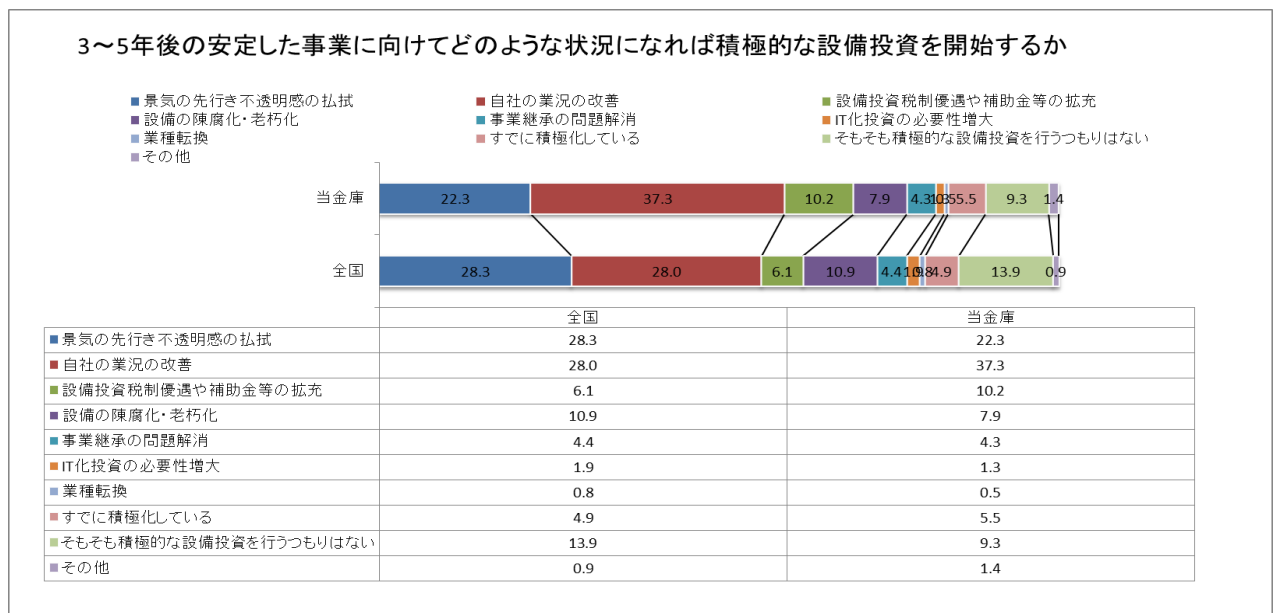
一方で、「新しい販路・市場を開拓したい」（34.7%）、「新しい製品・商品サービスを開発したい」（15.9%）は全国よりも割合が高い結果となっている。



【問4】 3～5年後に向けどのような状況になれば積極的な設備投資を開始するか

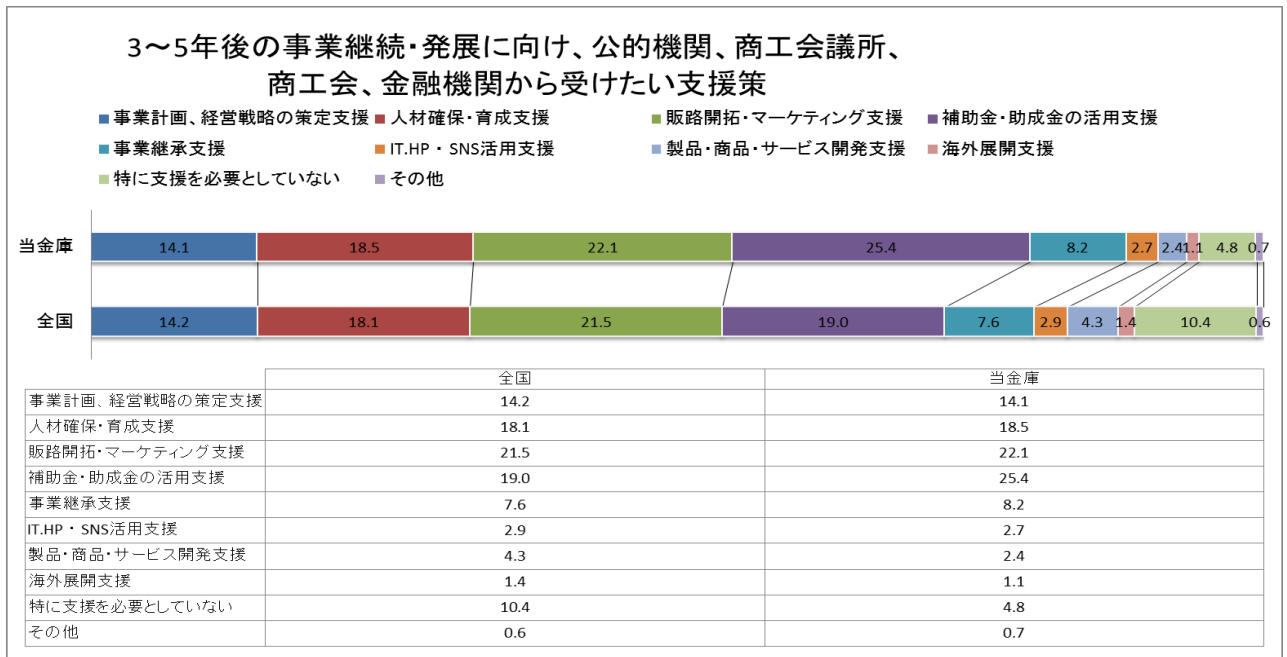
3～5年後に向けどのような状況になれば積極的な設備投資を開始するかについては、「自社の業況の改善」（37.3%）が最も高く、全国よりも9.3%高い結果となった。

次いで「景気の先行き不透明感の払拭」（22.3%）、「設備投資税制優遇や補助金等の拡充」（10.2%）の割合が高い。



【問5】 3～5年後の事業継続・発展に向け、公的機関、商工会議所、商工会、金融機関から受けたい支援策

3～5年後の事業継続・発展に向け、公的機関、商工会議所、商工会、金融機関から受けたい支援策については、「補助金・助成金の活用支援」(25.4%)「販路開拓・マーケティング支援」(22.1%)、「人材確保・育成支援」(18.5%)の順となっている。



以上

参考文献

- ・信金中央金庫 地域・中小企業研究所 「第168回全国中小企業景気動向調査」